

2024/1/15

盛岡地区県立病院運営協議会

岩手県立中央病院の概況



岩手県立中央病院 院長

宮田 剛



■基本理念

高度急性期医療を推進し、県民に信頼される病院

■行動指針

1. 良質な医療の提供
2. 次世代医療人の育成
3. 地域医療への貢献
4. 救急医療の充実
5. 災害医療の体制整備
6. 健全で効率的な病院運営
7. 魅力ある職場環境整備

岩手県立中央病院

DPC特定病院群

地域医療支援病院

地域がん診療拠点病院

救命救急センター【令和4年4月指定】

【令和4年度実績】

一日平均外来患者数	1,062人	(新患数 100人)
一日平均新入院患者数	42.0人	
平均在院日数	<u>11.5日</u>	
病床利用率	76.6%	
紹介率	68.1%	
(地域医療支援病院紹介率	67.1%)	
(// 逆紹介率	64.9%)	
一日平均救急患者数	<u>49.0人</u>	
一日平均救急車受入れ件数	<u>22.1件</u>	
全麻件数	4,180件	
手術件数	5,196件	
分娩件数	355件	
医業収支	▲ 2億3千万円	

【令和5年4月の状況】

病床数 685床

標榜診療科 29科

職員数 1,419名 (うち正規職員数 1,083名)

医師数 **216**名

(正規136名、専門研修44名(兼務発令者除く)、
初期研修35名(歯科2名含む)、臨時1名)

看護師数 687名 (うち正規 622名)

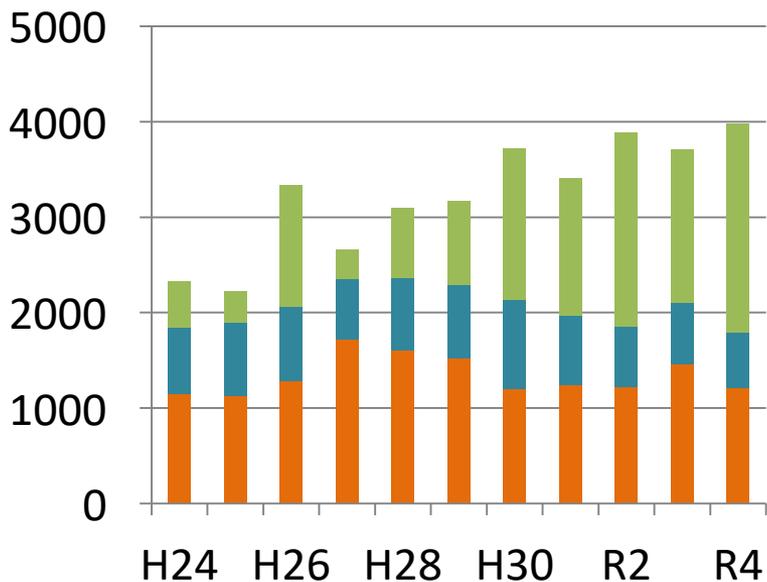
医療クレーク 58名



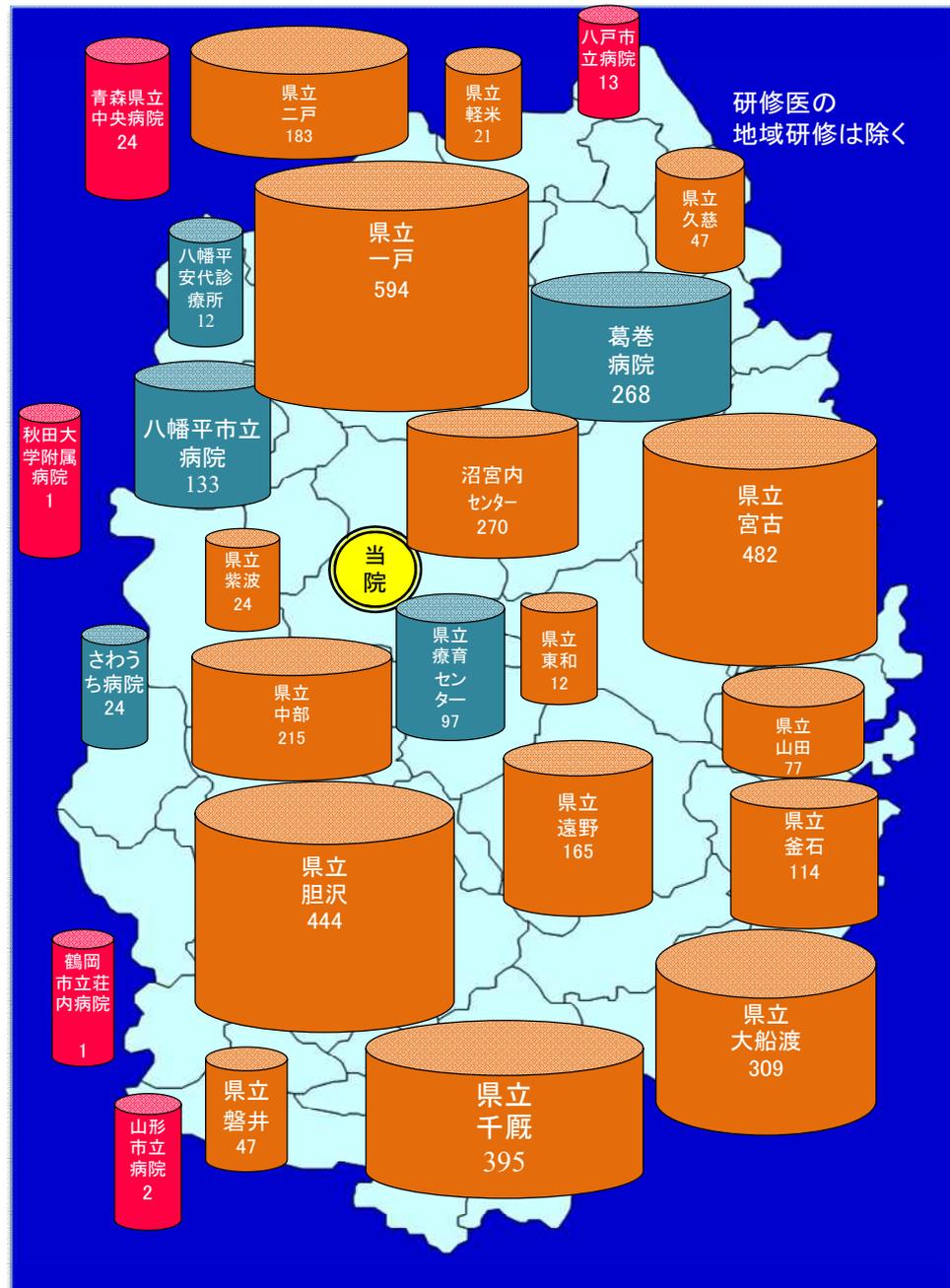
岩手県立中央病院の診療応援 年3,975回（令和4年度）

一日平均約**11**人の医師が不在になる。

年度推移



■ 県立病院 ■ 市町村立病院 ■ 兼務発令



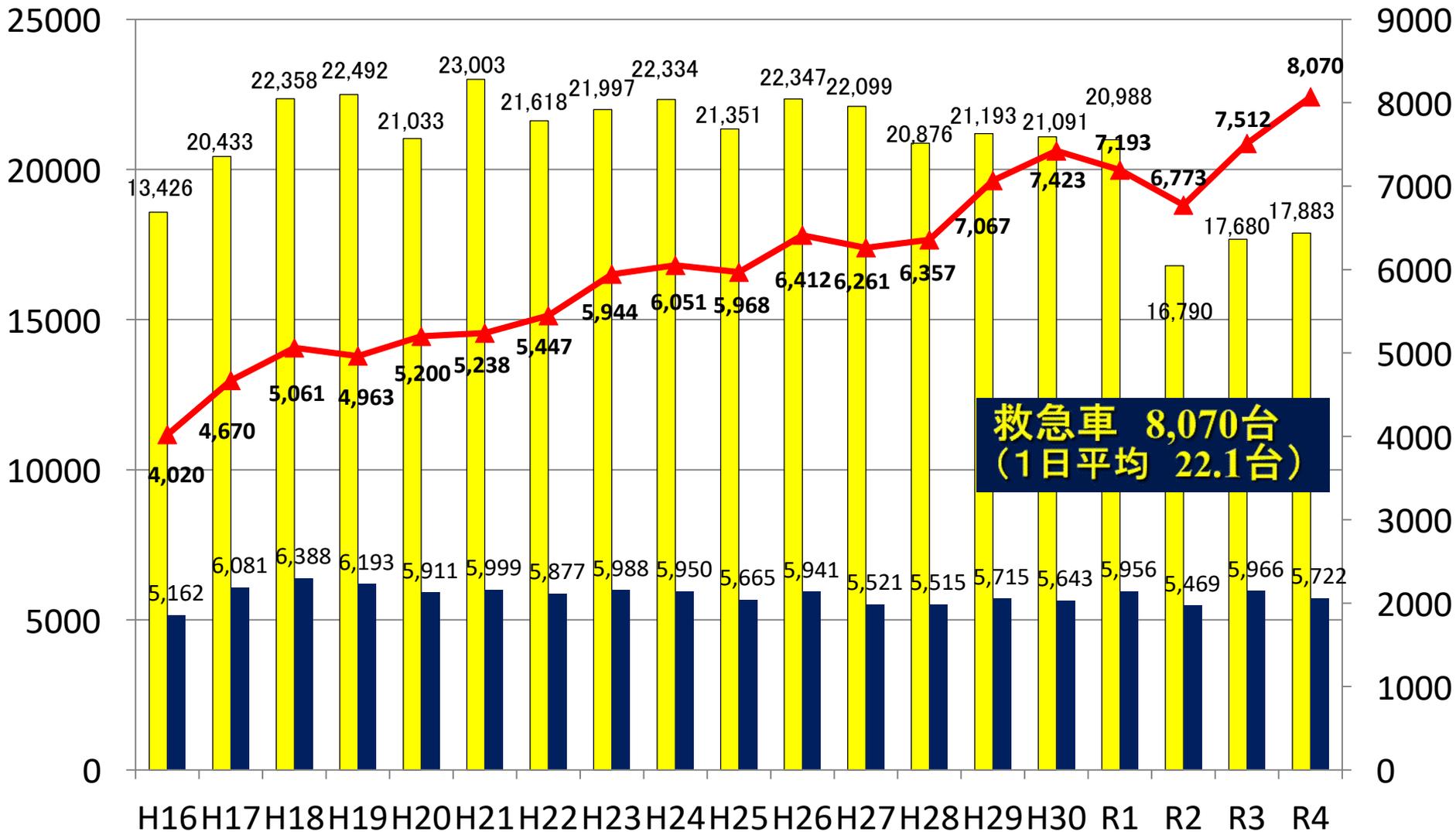
救急医療

当直医7名体制（+ ICU、小児輪番）

救急患者数

救急入院数

救急車搬入件数



2023年の振り返り

- **COVID-19の5類化（2023年5月～）**
 - 引き続き重症者への感染予防は必要
 - 県民の受療行動の変化
- **人口減少、少子化、独居高齢者の増加**
 - 救命救急センター体制の充実
- **医師の働き方改革**
 - グループ診療等、仕事を他者にも委ね、シェアする体制

高齢化社会の中で増える疾患



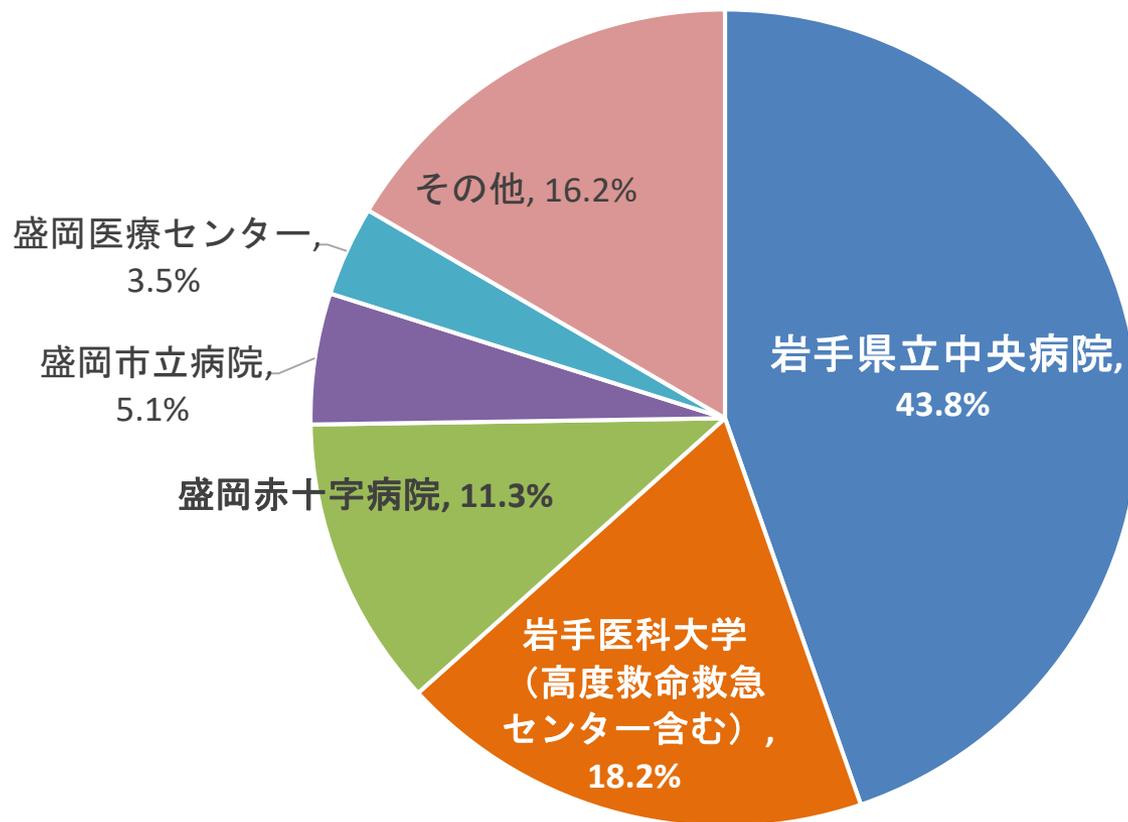
- 肺炎
- 骨折
- 脳梗塞
- 心不全

急性心筋梗塞などはピークアウトしていく・・・

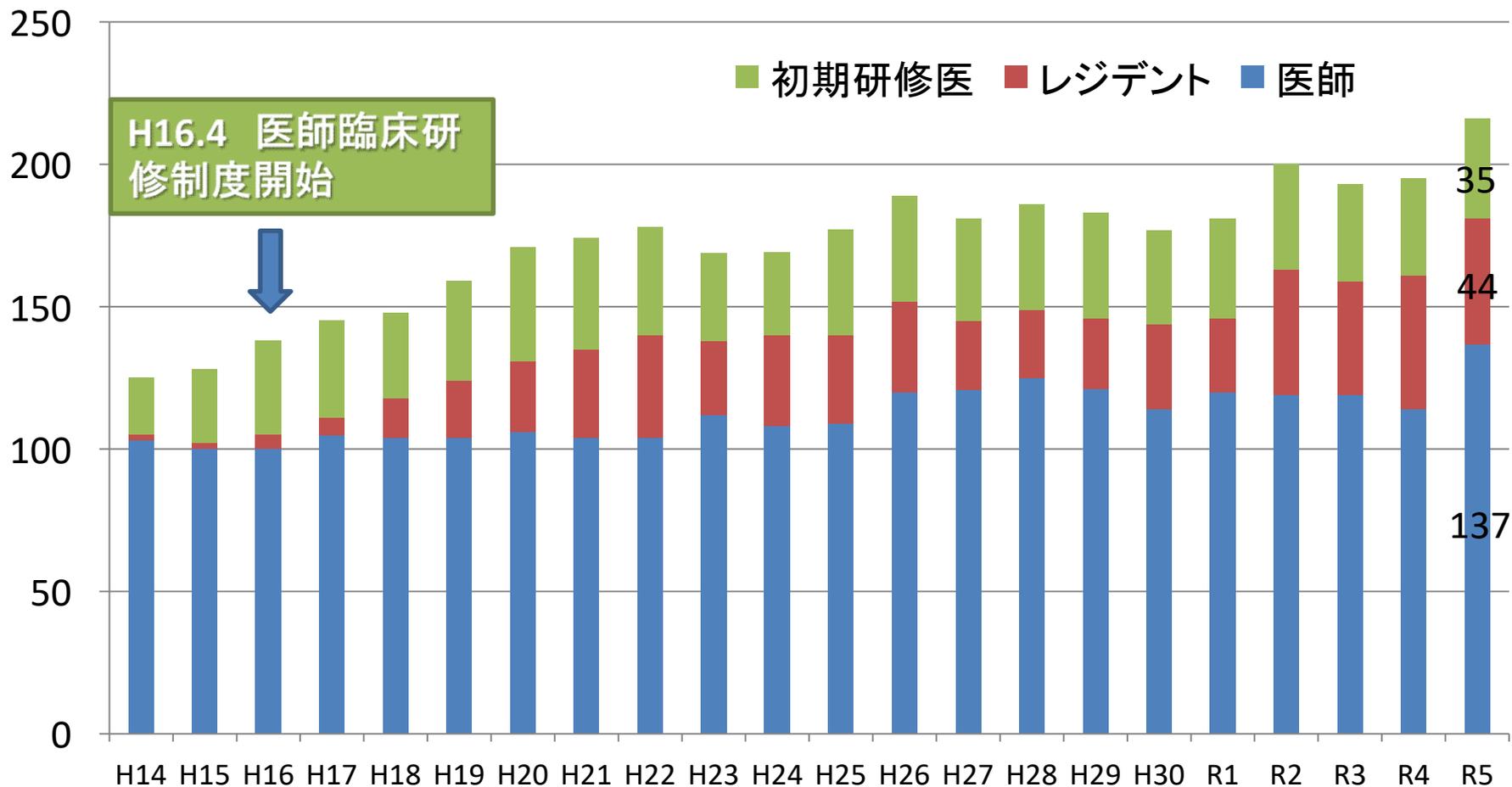
盛岡消防本部統計

救急車搬送先内訳

(2021年1月～12月 救急車16,446件/年の搬送)



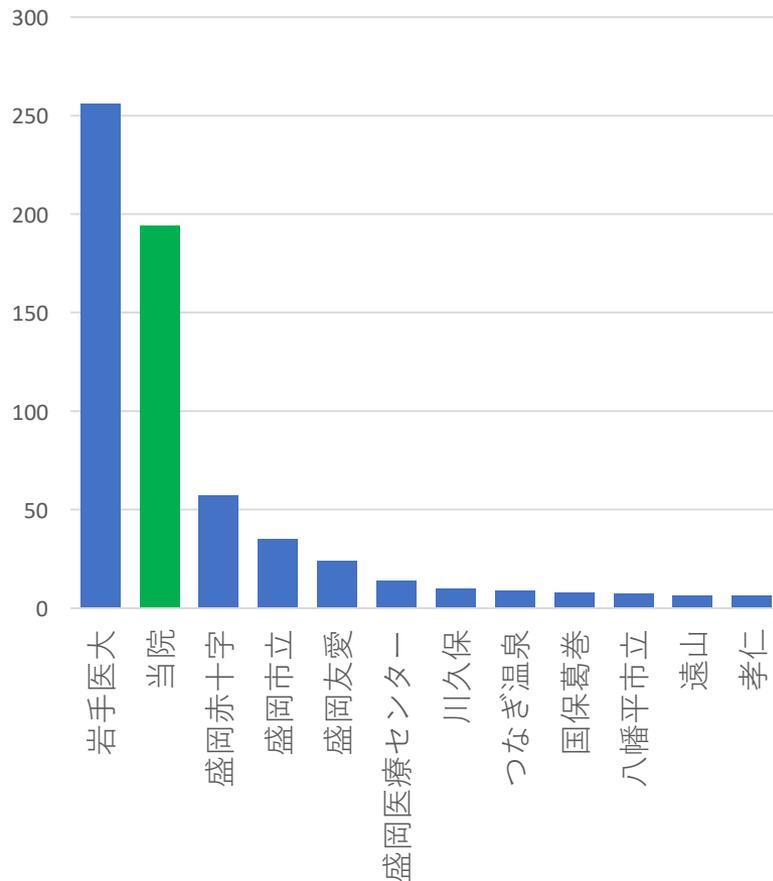
岩手県立中央病院 医師数の推移 ※R5.4.1現在



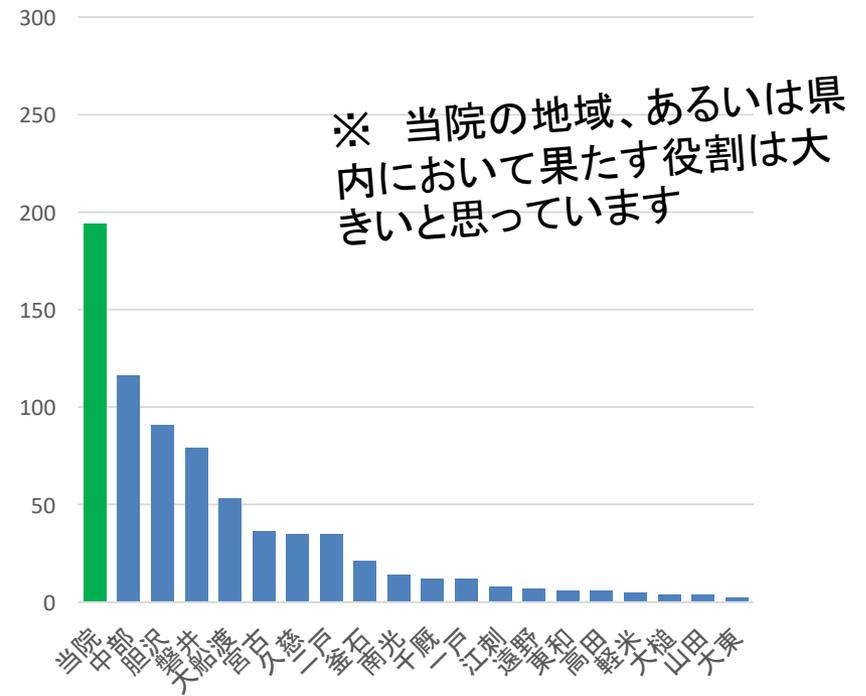
- ・初期研修医⇒歯科研修医2名含む
- ・レジデント⇒兼務発令者を除く

岩手県内医療機関 常勤医師数

盛岡二次医療圏



岩手県立病院群



病院情報局

<https://hospia.jp/>

より(2023.6.30アクセス)

百万円

2,000

岩手県立中央病院
単年度・累積損益 推移
(経常収支・医業収支比率)

累積(R4)
+175億6千万

新築移転
(S62~)

あり方検討委員会
(H16)

三菱総研
(H11)

コロナ(R2)

医業収支
比率(%)

累積(H10)
▲57億9千万

R4年経常収支
+9億4千万

0

△ 500

1,000

20,000

18,000

16,000

14,000

12,000

10,000

8,000

6,000

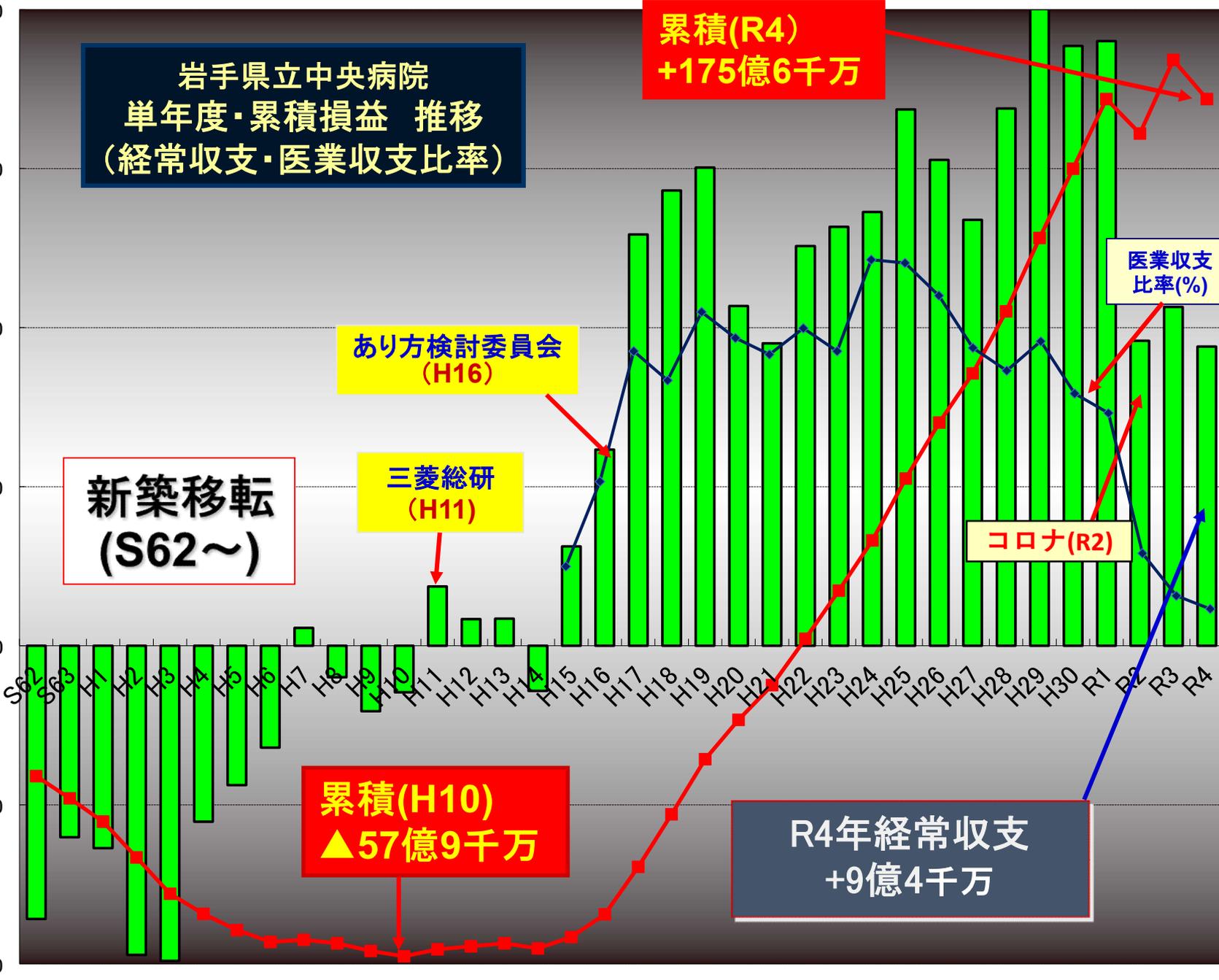
4,000

2,000

0

△ 2,000

△ 6,000



働き方改革

罰則付き時間外労働上限規制が最大の課題

- 当院での取り組み

- 2020年～ 看護師の働き方改革

- 記録の重複削減、シーツ交換や患者移送などのタスクシフト、面会対応の一括化、入退院支援・・・

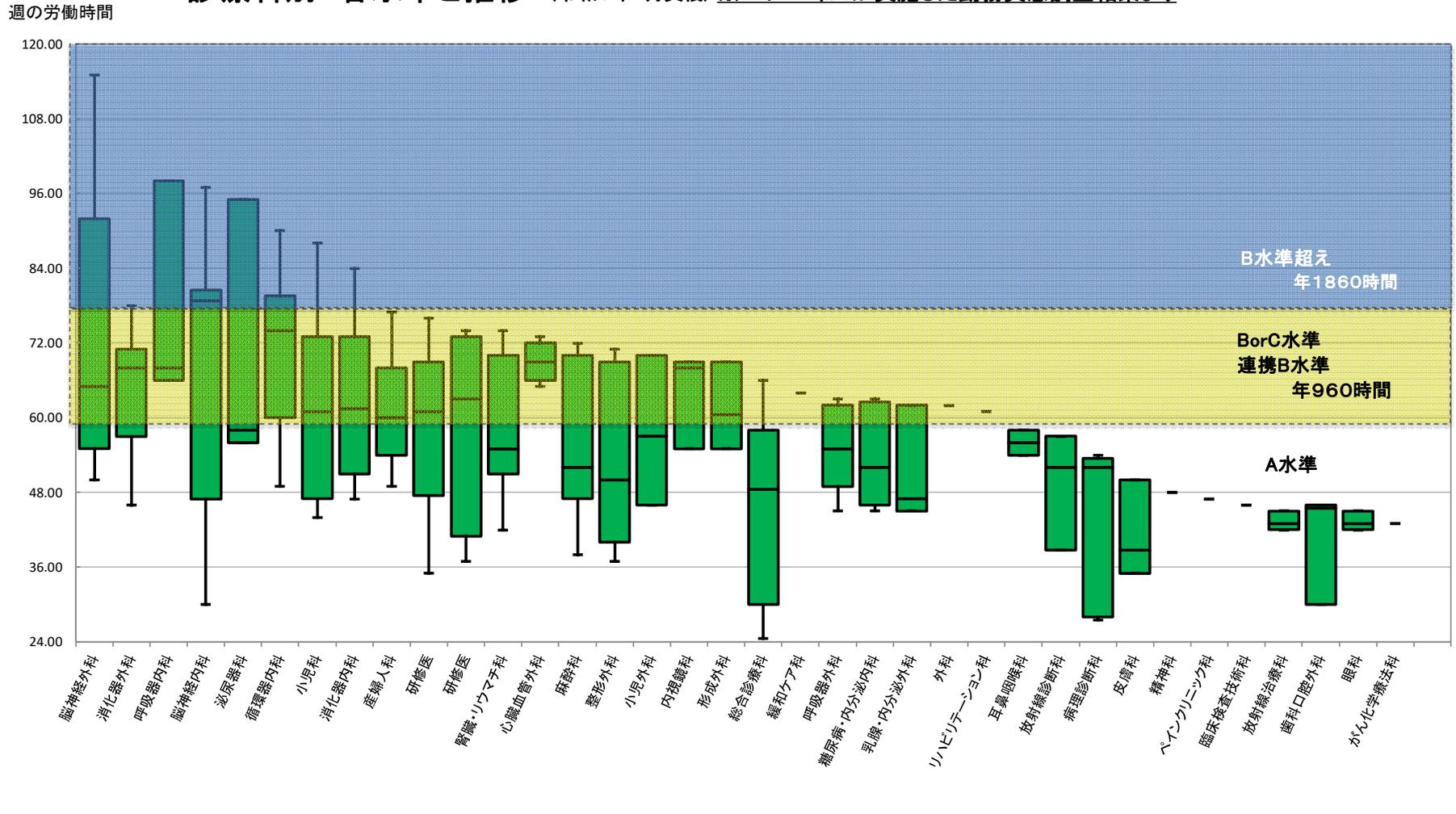
- 2021年～ 医師の働き方改革

- 医師事務作業補助者増員、グループ診療推進・・・

医師の働き方改革

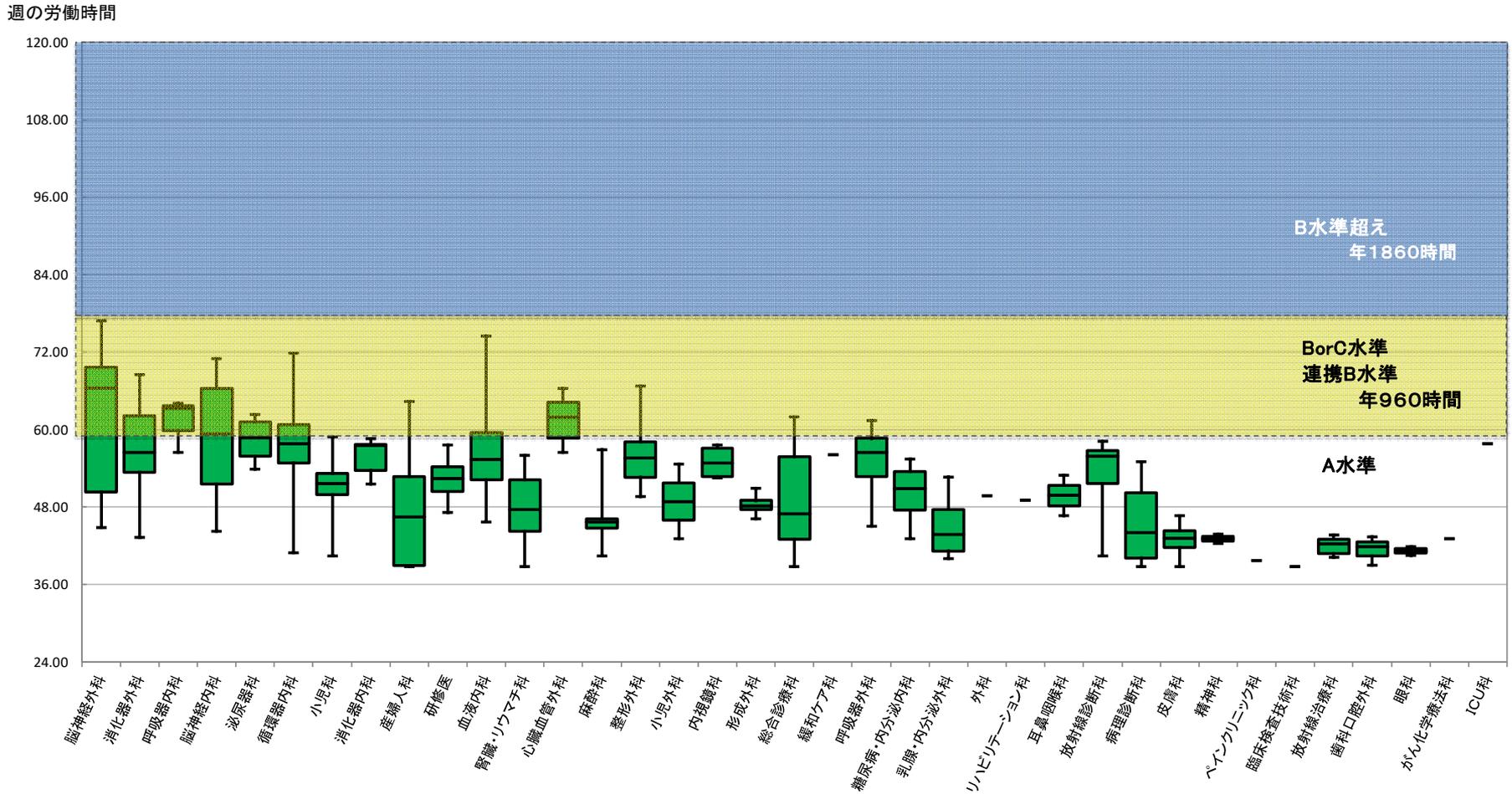
取組前(令和3年4月)

診療科別 各水準と推移 (令和3年4月実績) ※R3にハイズが実施した勤務実態調査結果より

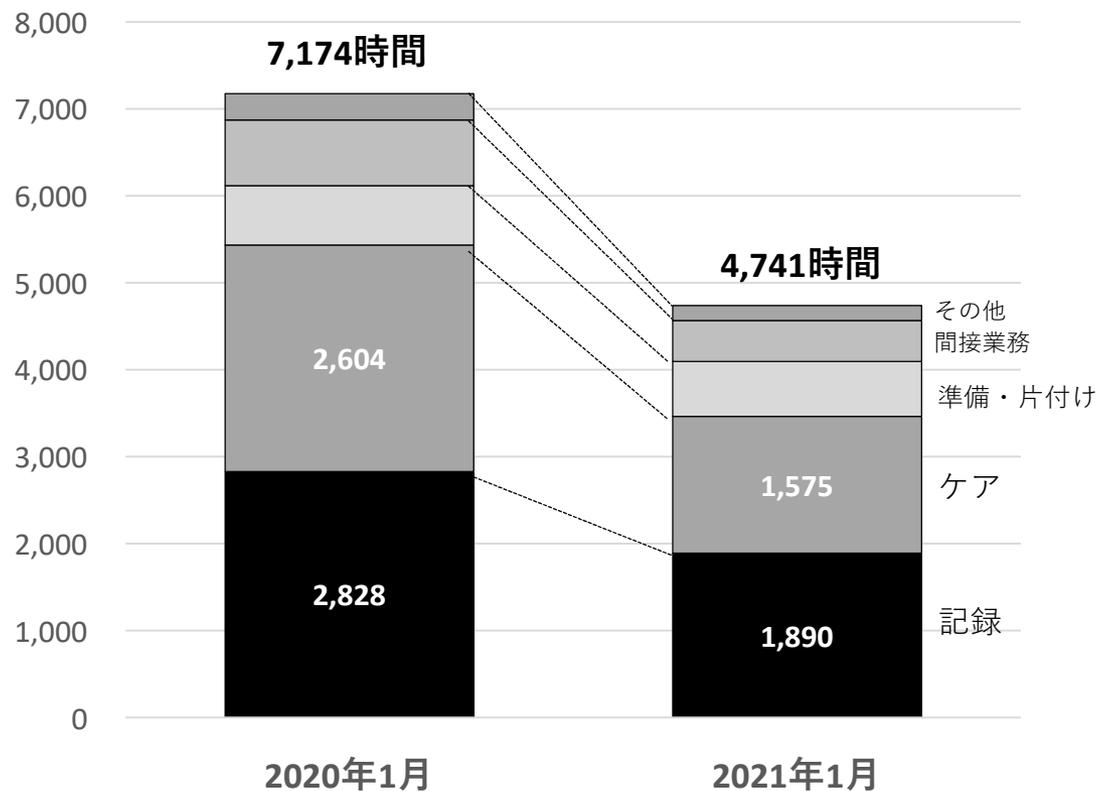


令和4年一年間の実績平均

診療科別 各水準と分布 (令和4年度実績) ※勤務管理システムより



看護師 日勤帯の超過勤務時間の改善



※ 特に問題視していた記録時間の短縮が見られた

病院機能を果たす為の**出口戦略**

入口

出口

空床とマンパワーを確保しつつ
黒字化を目指す

救急患者

悪性腫瘍等の先進医療

診断、治療困難患者



術後回復強化策で
早期退院
(リハビリと栄養)

地域連携による
早期転院

地域診療応援
+
働き方改革
(罰則付き時間外労働上限規制)

逆紹介促進による
再来患者削減

医学の進歩・医療技術の革新

※ 近年の医学の進歩、それに伴う医療技術革新スピードは加速している。新規医療機器、医薬品の導入には優先順位をつけながら慎重に進めていく必要がある。

- MRI更新(1.5T→3.0T)
- 手術ロボット導入の検討開始
 - 安全で低侵襲な手術の未来形



岩手県立中央病院 課題

- 社会構造の変化（少子高齢化）による疾病構造の変化、増加する医療ニーズに応じて高度医療を働き方改革を進めながら提供していくためには、下記項目を課題としてまいります。
 - 院内業務の効率化
 - 近隣医療機関、介護福祉施設、行政との連携をさらに強化し、高度急性期病院としての機能を特化
 - 利用者の皆様とも危機感を共有し、医療の在り方を地域全体で考えられるような情報の提供